



No. 3 3

有脇小学校校長だより

2020・2・13



2月8日土曜日にPTA主催のペンキ塗りがありました。2階と3階の廊下の壁をアイボリー色に塗っていただきました。有脇小学校の校舎も他校の校舎と同様に老朽化が進んでいます。壁の汚れや塗装のはがれが目立ち始めてきました。その中で少しでも子どもたちが良い環境で活動できるようにと、昨年度から取り組んでいます。約1時間の作業でしたが、廊下は見違えるように明るくなりました。ありがとうございました。



亀崎中学校の入学説明会が2月6日に開かれ、6年生が参加しました。中学校は教科担任制だったり、定期テストや部活動があったり、学級対抗や学校全体で取り組む行事があったり、また「進路」という大きな選択もしなければなりません。小学校とは大きく違います。はやく慣れて、大切な3年間を楽しんでほしいと思います。(いいなあ。うらやましいなあ…心の声)



「半田山車祭り保存会」から寄付をいただきました。有脇小学校では「日本の祭り大図鑑」を購入させていただきました。「病やわざわいをはらう祭り」「先祖とともにすごす祭り」「豊作・豊漁を願い感謝する祭り」「世のなかの平和を祈る祭り」の全4巻で構成されています。「祭り」と一言と言っても起源や対象が違うんですね。有脇でも令和2年は4月5日に春日社の祭礼があります。



1月29日、4年担任の彦坂Tと養護教諭の堤Tが「けがの手当について知ろう」という主題で授業を行いました。有脇小学校で起こったけががグラフにまとめられ、そこから子どもたちは校内で多く起こるけがの種類を知りました。その後グループに分かれてけがの手当の方法について話し合いました。それを受け、堤Tから正しい手当の方法を聞きました。最後に擦り傷の手当を実際に行いました。

疑似擦り傷（赤マジックを最初に塗り、その上にスティックのりを塗り、最後にココアパウダーをふりかけました）をビニール手袋に作り、全員が手当の仕方を体験しました。全員が体験したことで、けがの手当についての意識が高まったのと同時に、けがの予防の意識も高まりました。



2月12日（水）有脇小学校の入学説明会がありました。令和2年度の新入生は25名の予定です。初めに校長が“一生懸命はかっこええ”について話しました。その後、入学してから6年間でどんなことをしていくのか、入学するまでにどんな準備をしてほしいのかなどを話しました。入学予定の子どもたちは、5年生といっしょに体育館で遊んだり、校内をスタンプラリーをして回ったりしました。入学式は4月6日です。楽しみにまっとなるでね。